



長門市立深川小学校 校長室・コミスクだより

本気・根気・元気

令和4年11月 24 日(木)

持久走の時期に思うこと

これは、小学生の時に習った道徳で、なぜか唯一覚えているお話です。昭和 50 年代の道徳です。主人公は「わたし」という小学生で、このような内容です。

わたしは、持久走が苦手です。練習ではいつも苦しくなって、途中で歩いていました。持久走大会の日が来るのが、いやでたまりませんでした。

とうとう、持久走大会の日がやってきました。本番の持久走大会は道路を走ります。スタートしてしばらくすると、やっぱり息が苦しくなってきました。「もう無理だ、歩こう」と思ったその時、少し先に電信柱が見えました。「あの電信柱まで走ったら、そこから歩くことにしよう」と思い、がんばって走りました。すると、今度は次の電信柱が見えました。「よし、もう一回、次の電信柱までがんばってみよう。」次の電信柱まで走りました。そして、また次の電信柱が見えます。「よし、次の電信柱まで・・・」

それを繰り返していたら、気が付いたら、学校が見えてきました。そして、わたしは、とうとう最後のゴールまで走り切ることができました。

ちなみに、電信柱と電信柱の間は、通常約 30m だそうです。私はこのお話を読んで、「そうか、そうやって続けるといいのか」と思い、これまでも目標達成のための心の支えとしてきました。毎年持久走の時期になると、このお話を思い出します。

小学校体育の持久走の目的は「一定のペースで楽しく走る」ことですが、持久走大会は、いつもと違う会場で観覧者の応援の中、レース形式で行うため、子どもたちの関心は順位やタイムに向きがちです。

持久走は必ずしも「苦しくても頑張り抜く」態度を育てるために行うのではありませんが、子どもたちにとっては、目標に向かって粘り強く取り組む、良い経験の場になります。明日の持久走大会を前に、または終わった後、ちょっと御家庭で上のお話を話題にしていただけるとうれしいです。



開校 150 周年記念事業の砂場が完成しました。連日、たくさん子どもたちでにぎわっています。山を作ったりトンネルを掘ったり、子どもたちも大喜びです。

学校運営協議会「にこにこパワフルプロジェクト」の、低学年児童が遊べる砂場をという提言を、深川小お助け隊の方々が実現してくださいました。本当にありがとうございます。大切に使用させていただきます。



コミュニティ・スクールの活動



4年 福祉体験（点字：点訳ひまわりの会 手話：長門手話友の会 車椅子・アイマスク：長門市社会福祉協議会）



日本文化クラブ 着付け教室
藤井鈴枝 様



ニュースポーツクラブ モルック
スポーツ推進委員の皆様



5年 バケツ稲 稲刈り・脱穀
JA 深川支所



史跡探訪とクリーンウォーク

11月3日（木）、長門市青少年育成市民会議深川支部と長門市子ども会深川支部の共催で行われた「史跡探訪とクリーンウォーク」に、深川小学校から23名の児童と保護者・教職員が参加しました。

浜の宮～深川川河口～妙見山～湊漁協～長門市駅～駅跨線橋～長門高校横～深川小学校～赤崎神社築敷敷を通過して中央公民館に帰ってくる往復7kmのコースでした。

深川地域にある史跡について学びつつ、日頃から支えていただいている地域への感謝を込めてゴミ拾いを行うことができました。

